温室効果ガス排出量 検証報告書

2023 年 7 月 12 日

不二製油グループ本社株式会社　御中

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター
上級経営管理者　平川 雅宏

1．検証の対象及び目的

不二製油グループ本社株式会社（（以下「事業者」という。）が作成した算定対象※1 における排出量算定結果「2022 年度データ CO_2 排出量算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の 2022 年度（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで）の以下の温室効果ガス（GHG）排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1)スコープ 1 GHG 排出量
算定対象において使用された天然ガス、都市ガス、LP ガス、軽油、灯油、ガソリンに伴って直接的に排出される CO_2 排出量

2)スコープ 2 GHG 排出量
算定対象において使用した電力、熱の使用に伴って排出される CO_2 排出量

検証の目的は、算定方法に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し GHG 排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された GHG 排出量情報に対する結論を表明することにある。

2．検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載の GHG 排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG 排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

３．検証の結論

算定報告書に記載された 2022 年の GHG 排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

NOTE:

※1：国内：不二製油株式会社 阪南事業所、不二製油株式会社 千葉工場

海外：フジオイル(シンガポール)、ウッドランド サニーフーズ、
パルマジュ エディブル オイル、不二制油（张家港）有限公司、天津不二蛋白有限公司、
フジ ベジタブル オイル、ブラマー チョコレート カンパニー （シカゴ 工場)、
ブラマー チョコレート カンパニー (イースト グリーンビル 工場)

※2：上記算定対象の検証された GHG 排出量情報は別紙を参照

以上

温室効果ガス排出量 検証報告書

2023 年 7 月 21 日

不二製油グループ本社株式会社　御中

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター
上級経営管理者　平川 雅宏

1．検証の対象及び目的

不二製油グループ本社株式会社（（以下「事業者」という。）が作成した算定対象[※1]における排出量算定結果「2022 年度データ CO_2 排出量算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の 2022 年度（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで）の以下の温室効果ガス（GHG）排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1)スコープ 3 GHG 排出量

算定対象の事業活動におけるスコープ 3 カテゴリ 1[※2]において排出される CO_2 排出量

検証の目的は、算定方法[※3]に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し GHG 排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された GHG 排出量情報に対する結論を表明することにある。

2．検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載の GHG 排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG 排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

３．検証の結論

算定報告書に記載された 2022 年度の GHG 排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

NOTE:

※1：国内：不二製油株式会社、フジフレッシュフーズ株式会社、オーム乳業株式会社、
株式会社エフアンドエフ
海外：フジオイル(シンガポール)、ウッドランド サニーフーズ、
パルマジュ エディブル オイル、フジオイル(タイランド)、フレイアバディ インドタマ、
フジ グローバル チョコレート（M）、不二制油（张家港）有限公司、
不二制油（肇庆）有限公司、天津不二蛋白有限公司、巴洛美巧克力製造（上海）有限公司、
フジ ベジタブル オイル、ブラマー チョコレート カンパニー、ハラルド、
フジオイル ヨーロッパ、フジオイル ガーナ

※2：カテゴリ 1（購入した製品・サービス）：主な製品の原料及び容器包装を対象

※3：「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.5)」、「LCI データベース IDEAv3 Ver.3.2」及び、事業者が作成した「スコープ 3 カテゴリ 1 算定手順書」

※4： 上記算定対象の検証された温室効果ガス排出量は別紙を参照

以上